

# 道 路

## (高速道路の復旧)

### 1. 常磐自動車道

- ①箇所名：常磐自動車道の被災箇所
- ②応急復旧により、平成23年4月28日までに福島第一原子力発電所警戒区域（常磐道広野 IC～常磐富岡 IC）を除き一般車両の通行が可能となった。（原発警戒区域内は、平成23年4月29日までに緊急車両の通行が可能となった。）
- ③平成24年12月末までに本復旧を完了する予定（常磐道広野 IC～常磐富岡 ICを除く）
- ④警戒区域を含む常磐道広野 IC～常磐富岡 IC 間については、環境省が実施する除染工事（平成24年内着手、仮置場の確保を前提に平成25年6月末完了予定）と並行して復旧工事に着手し、工事発生材等の処理、供用形態、アクセス道路の復旧等について関係機関と調整が整うことを前提に、平成25年度を供用目標として事業を進める予定。  
今後の工事の実施にあたっては、放射性物質汚染対処特措法に基づく対策地域内廃棄物処理計画、特別地域内除染実施計画等を踏まえて進める予定。

※なお、復旧箇所以外の常磐自動車道の整備については、

- 相馬 IC～山元 IC 間：平成26年度
- 区域見直し前の警戒区域を含む以下の区間については、工事発生材の処理、供用形態、アクセス道路の復旧等について関係機関との調整が整うことを前提に
- 浪江 IC～南相馬 IC 間：平成26年度
  - 常磐富岡 IC～浪江 IC 間：平成26年度供用目標区間から大きく遅れない時期を供用目標として事業を推進。

## (直轄国道の復旧)

### 2. 一般国道6号

- ①箇所名：一般国道6号の被災箇所
- ②応急復旧により、平成23年4月10日までに福島第一原子力発電所警戒区域を除き通行が可能となった。（原発警戒区域内は、12月26日までに2車線を確保。）
- ③橋梁等関係機関協議を踏まえて復旧予定（原発警戒区域除く）。
- ④原発警戒区域内の今後の工事の実施にあたっては、放射性物質汚染対処特措法に基づく対策地域内廃棄物処理計画、特別地域内除染実施計画及び除染の実施結果等を踏まえて検討。

## (県管理道路の復旧)

### 3. 県管理道路

#### ○南相馬市エリアの県管理道路

##### ① 道路の状況

避難指示解除準備区域内の路線数（県管理道路）	9 路線
うち被災した路線（工区）数	9 路線 5 箇所
うち応急対策を実施した路線（工区）数	1 路線 1 箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	9 路線 5 箇所

##### ②復旧の予定

被災箇所 9 路線 5 箇所のうち 1 路線 2 箇所については、旧計画的避難区域であり平成 23 年に査定を受け工事発注済みである。

残る 8 路線 5 7 箇所については、平成 24 年 7 月下旬から災害査定を実施予定であり、採択された箇所については、国が実施する除染や仮置場確保の状況により準備整った箇所から速やかに本復旧工事に着手したいと考えている。

本復旧工事の完了については、地震災は概ね 3 年、津波災は今後策定される復興計画との整合を図りながら概ね 5 年での完了を目指す。

##### ③平成 24 年度の成果目標

既に発注済みの 2 箇所について完了を図るとともに、災害査定で採択された箇所については、年度内の本復旧工事の着手を目指す。

##### ④その他

工事の実施にあたっては、放射能に汚染された建設工事発生物の処分が問題となっている。

#### ○田村市エリアの県管理道路

##### ① 道路の状況

避難指示解除準備区域内の路線数（県管理道路）	1 路線
うち被災した路線（工区）数	1 路線 1 箇所
うち応急対策を実施した路線（工区）数	0 路線 0 箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	1 路線 1 箇所

##### ② 復旧の予定

被災箇所については、平成 24 年 7 月下旬から災害査定を実施予定であり、採択された箇所については、国が実施する除染や仮置場確保の状況により準備が整った箇所から速やかに本復旧工事に着手したいと考えている。

本復旧工事の完了については、概ね 3 年での完了を目指す。

##### ③ 平成 24 年度の成果目標

災害査定後、年度内の本復旧工事の着手を目指す。

## ○広野町エリアの県管理道路

### ① 道路の状況

旧緊急時避難準備区域内の路線数（県管理道路）	6 路線
うち被災した路線（工区）数	3 路線 5 箇所
うち応急対策を実施した路線（工区）数	0 路線 0 箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	3 路線 5 箇所

### ② 復旧の予定

被災箇所については、平成23年に災害査定を受け、うち地震災2箇所は工事発注済みであり、津波災3箇所は、復興計画との整合を図りながら、今後の復旧方法を再検討している。

本復旧工事の完了については、地震災は概ね3年、津波災は今後策定される復興計画との整合を図りながら概ね5年での完了を目指す。

### ③ 平成24年度の成果目標

現在、工事中である地震災2箇所については、年内の完了を図るとともに、津波災3箇所については、復興計画との整合を図り早期に復旧方針を確定したい。

## ○檜葉町エリアの県管理道路

### ① 道路の状況

旧緊急時避難準備区域内の路線数（県管理道路）	6 路線
うち被災した路線（工区）数	6 路線
※現在継続して調査を実施中	

### ② 復旧の予定

平成23年度に被災調査を実施しており、（主）いわき浪江線外5路線で地震・津波による被害が確認された。

本復旧工事の完了については、概ね3年での完了を目指す。

### ③ 平成24年度の成果目標

災害査定後を受け、順次、工事着手を目指す。概ね3年程度の完了を目指す。

## ○飯舘村エリアの県管理道路

### ① 道路の状況

区域内的路線数（県管理道路）	5 路線
うち被災した路線（工区）数	5 路線
※現在継続して調査を実施中	

### ② 復旧の予定

平成23年度に被災調査を一部実施しており、国道399号他4路線で地震による被害が確認され、同年度に災害査定を完了した。

復旧工事については、概ね3年での完了を目指す。

復旧する施設の概要については、建設副産物の処理方法が確定した後に、周辺の除染作業の工程に合わせて災害箇所を再調査し、工事を進める。

③平成24年度の成果目標

建設副産物の処理方法を確定する。

④ その他

帰還困難区域である4路線では、帰還の動向を踏まえ、災害箇所を再調査し、工事を進める。

○富岡町エリアの県管理道路

① 道路の状況

区域内の路線数（県管理道路）	5路線
うち被災した路線（工区）数	5路線

※現在継続して調査を実施中

② 復旧の予定

平成23年度に被災調査を実施しており、小埜上郡山線外2路線が地震・津波による被害が確認された。平成25年度査定に向けて準備を進め、その後工事を行う。小野富岡線外の路線については、線量の低減等の状況により調査および工事を行う。復旧工事については、概ね3年程度での完了を目指す。

○浪江町エリアの県管理道路

① 道路の状況

区域内の路線数（県管理道路）	15路線
うち被災した路線数	7路線

※現在継続して調査を実施中

② 復旧の予定

平成23年度から被災調査を実施しており、国道114号他6路線で地震・津波による被害が確認された。

低線量区域は平成25年度早期の査定に向けて準備を進め、早期の完了を目指す。中線量区域と高線量区域については、被災箇所の調査が未了であり、除染を含めた線量の減衰を見極めながら可能な区域より調査および工事を行う。本復旧工事の完了については、地震災は査定から概ね3年、津波災は今後策定される復興計画との整合を図りながら、査定から概ね5年での完了を目指す。

災害復旧区間において、町の上下水道等の復旧箇所がある場合には調整を図り、工事を行う。

災害復旧箇所では今後、ホットスポットが確認された箇所の復旧については、線量調査を行い対応方法や実施時期の検討を行う。

## ○葛尾村エリアの県管理道路

### ① 道路の状況

区域内の路線数（県管理道路）	4 路線
うち被災した路線数	4 路線

※現在継続して調査を実施中

### ② 復旧の予定

平成23年度に比較的線量の低い箇所について被災調査を実施した結果、国道399号外3路線で地震による被害が確認され、同年度に災害査定を完了した。復旧する施設の概要については、建設副産物の処理方法が確定した後に、周辺の除染作業の工程に合わせ線量の減衰を見極めながら災害箇所を再調査し、工事を進める。復旧工事については、概ね3年での完了を目指す。

高線量区域に位置する路線は、除染を含めた線量の低減を見極めながら可能な区域より調査及び工事を行う。

## ○川俣町エリアの県管理道路

### ① 道路の状況

計画的避難区域内の路線数（県管理道路）	3 路線
うち被災した路線（工区）数	3 路線 1 1 箇所
うち応急対策を実施した路線（工区）数	0 路線 0 箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	0 路線 0 箇所

### ② 復旧の予定

復旧箇所の放射線量が高く、掘削残土の移動を地区外に出来ない。また、残土処分地の見通しが立っていないことから事業は未着手となっている。

今後、処分方法が決定次第、復旧工事を実施する。

# インフラ復旧の工程表（道路）

平成24年12月末現在

●→ : 工程が見込めるもの      ●.....▶ : 工程が現時点で見込みにくいもの

整備主体	被災/稼働状況	H24年度				H25年度				H26年度				H27年度以降	備考・ポイント等	
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月			
常磐自動車道	東日本高速道路(株) 平成23年4月28日までに一般車両通行可能 (原発警戒区域内は、平成23年4月29日までに緊急車両通行可能)	●→				●.....▶									復旧箇所以外の常磐自動車道の整備については、 - 相馬IC～山元IC間 : 平成26年度 区域見直し前の警戒区域を含む以下の区間については、工事発生材の処理、供用形態、アクセス道路の復旧等について関係機関との調整が整うことを前提に - 浪江IC～南相馬IC間 : 平成26年度 - 常磐富岡IC～浪江IC間 : 平成26年度供用目標 区間から大きく遅れない時期を供用目標として事業を推進。	
一般国道6号	国 平成23年4月10日までに福島第一原子力発電所警戒区域を除き通行可能。 原発警戒区域内は、平成23年12月26日までに2車線を確保。	●→				●.....▶										
<b>県管理道路 南相馬市エリア</b>																
県道12号 原町川俣線(地震)	県(土木部)	1箇所は応急工事により2車線確保 路面クラック	●.....▶													建設産業廃棄物等の処分ができないため、工事休止中。
県道34号 相馬浪江線 他7路線(地震)	県(土木部)	路面クラックなど	●	●	●	●.....▶									H24年度内に査定完了予定 H26年度内工事完了予定	
県道256号 幾世橋小高線 他3路線(津波)	県(土木部)	道路流失など	●	●	●	●.....▶									H24年度内に査定完了予定 H27年度内工事完了予定	
<b>県管理道路 田村市エリア</b>																
(補助国道) 国道288号線	県(土木部)	路面クラック	●	●	●	●.....▶									(※除染・仮置場の確保等が必要となった場合はH26年度末までの完了を目指す)	
<b>県管理道路 広野町エリア</b>																
県道393号 上北迫下北迫線 他1路線(地震)	県(土木部)	地震による被災(道路)	●→													
県道391号 広野小高線(津波)	県(土木部)	津波による被災(道路)	●→													
県道391号 広野小高線北釜橋梁	県(土木部)	津波より上部工流失(橋梁)	●→													町復興計画との整合を図る必要有り →廃工
<b>県管理道路 楢葉町エリア</b>																
県道35号 いわき浪江線 他5路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂、路面流出	●	●	●	●.....▶									H24年度内に査定完了予定 その後、工事着手	

●→ : 工程が見込めるもの      ●.....▶ : 工程が現時点で見込みにくいもの

	整備主体	被災/稼働状況	H24年度				H25年度				H26年度				H27年度以降	備考・ポイント等				
			4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月						
<b>県管理道路 飯館村エリア</b>																				
県道268号 草野大倉鹿島線	県(土木部)	舗装亀裂 H23年度に災害査定済	副産物処理方針調整				工事													
国道399号 他3路線 (帰還困難区域)	県(土木部)	舗装亀裂 H23年度に災害査定済					調査・設計				工事					・帰還困難区域であるため、帰還の動向を踏まえ災害箇所を再調査し、工事を進める。				
<b>県管理道路 富岡町エリア</b>																				
県道244号小塙上郡山線 他2路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂、路面流出	調査・設計				査定				工事					警戒区域解除時期等により工程が変更となる。				
県道36号小野富岡線 他1路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂、路面流出					調査・設計				査定				工事			警戒区域解除時期等により工程が変更となる。		
<b>県管理道路 浪江町エリア</b>																				
県管理道路 (津波被災地区) 長塚請戸浪江線 他1路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂、路面流失	調査・設計				査定				地元調整・詳細設計				国協議・用地買収・工事			平成25年度早期の災害査定に向けて準備を進め、今後策定される復興計画との整合を図りながら、平成29年度の完了を目指す。		
県管理道路 (低線量区域) 国道114号 他6路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂	調査・設計				査定				地元調整				工事			平成25年度早期の災害査定に向けて準備を進め、地震災は平成27年度の完了を目指す。		
県管理道路 (中線量区域) 国道114号他1路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂					調査・設計				査定				地元調整・詳細設計		工事			被災箇所の調査が未了であり、除染を含めた線量の減衰を見極めながら、可能な区域より調査および工事を行う。本復旧工事の完了については、査定後に概ね3年での完了を目指す。災害査定は、箇所毎に設定され、除染を含めた放射線量の減衰状況により変更となる場合がある。
県管理道路 (高線量区域) 未調査	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂	未定															放射線量の減衰状況を見極めながら復旧に着手します。 なお、国による区域再編後の一時立ち入りルートの見直し状況を踏まえ、国道114号の仙人沢トンネル浪江側坑口部の安全対策を平成25年度早期に実施予定		
<b>県管理道路 葛尾村エリア</b>																				
県管理道路 国道399号他3路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂	調査・設計				地元調整・詳細設計				工事									
県管理道路 (高線量区域)	県(土木部)	未確認	未定															放射線量の減衰状況を見極めながら復旧に着手する。		
<b>県管理道路 川俣町エリア</b>																				
県管理道路 国道459号他2路線	県	舗装亀裂					処分場確保				工事					平成23年度に査定済				